

平成24年度 第5次鯖江市総合計画推進にかかる施策方針

～教育委員会～

第5次鯖江市総合計画の着実な推進を目的として、平成24年4月に策定した施策方針の取組結果について、次のとおり報告します。

平成25年3月

教育委員会事務部長 酒井 誠

1 総括

- 1 子どもたちが、安全で安心して学び活動できる教育環境の整備に努め、豊小学校の校舎改築工事（第2期）や鯖江東、立待、北中山小学校の耐震補強工事を完了しました。さらに、補正予算で豊小学校の体育館改築や立待小学校、中央中学校の耐震補強や中学校の空調設備整備の予算を前倒しで確保しました。また、社会教育施設やスポーツ施設などについても、早期の維持補修や適切かつ効率的な管理に努め、施設の長寿命化に努めました。
- 2 食育を基盤として、確かな学力・豊かな心・たくましい体（知・徳・体）を育む学校教育の推進に努めました。また、地域との連携による学校給食畑を活用し、地場産食材の使用を促進するとともに、職場体験や「産業を体験し理解を深める学習事業」、「産業教育支援事業」、「ものづくり博覧会への参加」などの活動を通して、鯖江市の産業や文化の理解を深めるとともに、子どもたちの職業観や勤労観を育てる教育活動の推進に努めました。
- 3 幼児期における子どもたちが、健やかに育ち元気で就学していくために、幼稚園での遊びや家庭との連携を通して、基本的な生活習慣の定着や社会性・道徳性の育成、体力増進に努めました。また、小学校への円滑な移行を図るために教育内容の工夫や小学校との交流事業の充実に努めるとともに、地域に開かれた幼稚園づくりを推進しました。
- 4 地域における人間関係の希薄化や核家族の進展などにより、地域の教育力や家庭の教育力の低下が問題となっており、地域で大人と子どもが集いふれあう機会を持つため、地域住民が主体的に企画・運営する実行委員会方式で「公民館合宿通学事業」を実施し、地域の教育力の向上に努めました。また、「鯖江市子どもまつり」を開催し、地域の親子や子ども同士が触れ合い絆を深めるなど家庭教育力の向上を図りました。また、地域人材を発掘し活用する地域人材バンクの登録も推奨し、地域における生涯学習の推進に努めました。
- 5 市内の貴重な歴史的・文化的な資産を幅広く調査し、新たに13件を指定文化財に指定しました。また、それらを活用して広く周知し、郷土に愛着と誇りや夢を持てる地域の特色あるまちづくりを展開しました。また、市民が広く文化芸術に触れる機会を創出するとともにまなべの館の利用促進を図るため、企画展を4回開催し、多くの市民に文化芸術の鑑賞の機会を提供しました。また、「まなべDEわくわくアートフェスタ2012」や「子ども文楽交流会」では、子どもたちが伝統文化に触れる機会の提供に努めました。また、今年で第5回目となる「鯖江市市美展」には、昨年を上回る出品点数が得られ市民の文化意識の向上につながりました。

- 6 幼児から高齢者まで、市民各層の日常生活の中にスポーツ機会を身近に取り入れていくため、幼児体操ふれあい事業、ニュースポーツ教室、出前講座、提案型のスポーツ教室などのスポーツ教室をはじめ、大学との連携によるスポーツ強化事業や障がい者のスポーツ環境の整備などの事業に取り組みました。また、総合型スポーツクラブ連絡協議会を通して、各スポーツ団体の連携強化を図りながらスポーツ振興に努めました。また全国的な体操競技、駅伝競走・マラソンなどのスポーツイベントの開催を通じて、「スポーツのまちさばえ」を発信し、全ての市民が豊かさを実感できる鯖江型の生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みました。
- 7 文化の館では、市民の学習活動や日常生活を豊かに充実させる身近な生涯学習施設として、市民ニーズに的確に対応した資料を提供し、幼児から高齢者まで豊かな心を育もうとする市民を支援しました。また、図書館内に設置された学校図書館支援センターでは、学校図書館の充実のため各小中学校との連携強化を図り、子どもの読書活動支援を推進しました。
- 8 高年大学のこれまで積み重ねてきた実績を活かしながらより充実した事業内容への転換を図るため、健康長寿と社会貢献（社会参加）を2本柱とし、地域に健康で充実した生活の支援と大学で培った能力を活かした社会貢献活動の支援を行った結果、クラブ活動による慰問などに継続的な成果がありました。また、昨年度から始まった学内ボランティア活動では、グリーンカーテン事業で優秀賞を受賞、そのほか、機械室を倉庫に改修したり、学内の空き地や玄関先が草花で埋まるなど大きな成果がありました。また、広く市民の方が参加できる公開講座を大学の放課後に課外授業として開催するなど、一般市民の生涯学習の推進にも寄与できました。また、受講生の手でブログの更新や高年大学のフェスブックページが運営されるなどIT推進にも大きな成果がみられました。

2 課題

- 1 少子高齢化、核家族化、IT化等の進展により、家族のコミュニケーションの減少や地域における人間関係が希薄となり、家庭教育力の低下、地域教育力の低下が問題となっています。このため、公民館での事業や地域の団体が家庭教育の補完的な役割を果たし、地域全体で子どもを育成する取り組みが課題となっています。また、地域における人づくり、まちづくりに活かすために創設した生涯学習人材バンクの有効活用を図る必要があります。
- 2 文化の館における子どもの読書活動の支援事業のひとつとして、学校図書館支援センター事業の定着や推進のために、各小中学校の理解と連携強化、学校図書ボランティア等の人材確保及び育成が重要となっています。
- 3 健康・長寿と社会貢献を高年大学の目的として、より具体的に身近に実行できることが重要です。また、高年大学の存在が高齢者の社会貢献意識を育てていることには間違いありませんが、実際にどのように活動しているのか模索している受講生への対応が必要です。また、生涯学習による仲間づくりをより深めるための取組の推進も重要となっており、クラブ活動を支援するために、自費による通学バス（ワゴン）の運行も視野に入れていく必要があります。
- 4 近年の核家族化の進展から学童保育が重要視されている中、その受け皿となるスポーツ少年団などの体制強化が求められており、子供たちの未来にも繋がる重要課題となっています。また青少年期のスポーツ活動は、これからの人間性育成に大きく寄与するため、学校、総合型スポーツクラブ、スポーツ少年団、各種スポーツ団体が連携・協働し、地域全体での青少年期におけるスポーツ活動への対応が必要となっています。さらに、平成30年に開催される福井国体に向け、ジュニアアスリートの育成やハード、ソフト両面での様々な取り組みを行う必要があります。

3 重点的に進める項目の取組結果

<取組項目>		<取組結果>
1	<p>■ 施設の計画的整備および美化愛護推進事業の実施</p> <p>①小中学校や幼稚園をはじめ社会教育・スポーツ施設の整備や改修、維持補修を計画的に行うとともに適切な管理による施設の長寿命化を図ります。</p> <p>②学校（児童生徒を含む）と地域ボランティア、保護者が協働して、学校や幼稚園の軽微な修繕や環境保全活動を実施し、学校等の美化や環境改善に努めます。</p> <p>①◆ 小中学校の耐震化率 50棟/60棟 83.3% ◆ 豊小学校校舎改築による耐震化 (新北校舎建設) ②◆ 全小中学校、幼稚園で美化愛護推進事業 5回</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>①豊小学校の校舎改築（第2期）や鯖江東、立待、北中山小学校の耐震化を進めるとともに適切な施設の管理、維持補修に努めました。また、社会教育・スポーツ施設の整備や改修、維持補修を計画的に行うとともに適切な管理による施設の長寿命化に努めました。</p> <p>②学校（児童生徒を含む）と地域ボランティア、保護者が協働して、学校や幼稚園の軽微な修繕や環境保全活動を実施し、学校等の美化や環境改善に努めました。</p> <p>①◆ 小中学校の耐震化率 50棟/60棟 83.3% [A] ◆ 豊小学校校舎改築による耐震化 (新北校舎建設) 第2期工事完了校舎竣工 [A] ②◆ 全小中学校、幼稚園で美化愛護推進事業 9回 [A]</p>
2	<p>■ 小中学校における基礎学力の定着と向上</p> <p>①基礎学力の定着と応用力を養うために、児童の学習到達度を適切に把握し、指導の改善工夫を行うとともに、新聞を活用した授業を推進し、一層の学力向上を目指します。</p> <p>②地域の歴史や文化を学ぶとともに、小学校では地場産業製造体験や施設見学、中学校では職場体験やデザイン実習をとおして、本市産業の理解を深め職業観を育てる活動に取り組みます。</p> <p>③学校図書館の活性化に努め、子ども読書の推進を図ります。</p> <p>①◆ 自主制作による市確認テストの実施 2回 ◆ 児童・生徒用新聞の購読 小学校5・6年全学級（週刊子ども新聞） 各中学校2紙（全国紙・地方紙） ②◆ 眼鏡、漆器、繊維の製作体験の実施 全小学校の1学年の全児童を対象に実施 ◆ 眼鏡のデザイン実習の実施 全中学校の1学年の全生徒を対象に実施 ◆ ものづくり博覧会への参加 全中学校の1学年の全生徒を対象に実施 ③◆ 学校図書館の活性化 図書の貸出し冊数 年1人30冊</p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>①市独自の確認テストを実施し、児童の学習到達度を適切な把握に努め、指導の改善工夫を行うとともに、新聞を活用した授業を推進し、学力向上に努めました。</p> <p>②小学校では地場産業体験や施設見学、中学校では職場体験やデザイン実習、ものづくり博覧会参加を通して、本市産業の理解を深め職業観育成に努めました。</p> <p>③学校図書館の充実に努めるとともに、児童生徒の図書館の活用促進に努めました。</p> <p>①◆ 自主制作による市確認テストの実施 2回 [A] ◆ 児童・生徒用新聞の購読 小学校5・6年全学級（週刊子ども新聞） [A] 各中学校2紙（全国紙・地方紙） [A] ②◆ 眼鏡、漆器、繊維の製作体験の実施 全小学校の1学年の全児童が参加 [A] ◆ 眼鏡のデザイン実習の実施 全中学校の1学年の全生徒が授業で受講 [A] ◆ ものづくり博覧会への参加 全中学校の1学年の全生徒が参加 [A] ③◆ 学校図書館の活性化 図書の貸出し冊数 年1人 25.7冊 [B]</p>

< 取組項目 >		< 取組結果 >
3	<p>■ 食育の推進 子どもたちの健全な心身の成長のため、食育を教育の基盤として位置づけ、その推進に努めます。</p> <p>①規則正しい食生活は、健康な生活の基本であることを児童生徒、保護者等への理解を深め、朝食摂取率の向上を目指します。</p> <p>②食の安全安心の確保と農業への理解を深め、生産に携わる人や食材への感謝の念を育むため、地域との連携により学校給食畑を全小学校に設置し、活用を図りながら地場産（鯖江産）野菜等の使用率の向上を目指します。</p> <p>①◆朝食摂取率 100% ②◆地場産（鯖江産）食材使用率 30% ◆地場産給食の日 全小中学校 2回</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>①規則正しい食生活は健康な生活の基本であることについて、児童生徒、保護者等への理解を深め、朝食摂取率の向上に努めました。</p> <p>②学校給食畑を活用しながら、食の安全安心の確保と農業への理解を深め、生産に携わる人や食材への感謝の念を育むとともに、地場産（鯖江産）野菜等の使用率の向上に努めました。</p> <p>①◆朝食摂取率 98.5%[A] ②◆地場産（鯖江産）食材使用率 29.9%[A] ◆地場産給食の日 全小中学校 2回[A]</p>
4	<p>■ 幼児教育の充実 小学校への円滑な移行を図るため、幼稚園と小学校の交流事業の充実に努めるとともに、地域に開かれた園として子育て支援活動に取り組みます。</p> <p>◆幼稚園と小学校の交流事業 各園 10回 ◆園開放事業「遊びにおいて」の実施 各園 12回</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>小学校への円滑な移行を図るため、幼稚園と小学校の交流事業の充実に努めるとともに、地域に開かれた園として子育て支援活動に努めました。</p> <p>◆幼稚園と小学校の交流事業 各園平均 13回[A] ◆園開放事業「遊びにおいて」の実施 各園平均 17回[A]</p>
5	<p>■ 地域の教育力の向上</p> <p>①地域住民が組織的、主体的に地域の小学生を対象に地域の公民館等で合宿通学事業を行い、地域住民と子どもたちが交流し触れ合うことにより、地域の子どもは地域で育てるという地域内での意識の醸成や地域の教育力の向上を図ります。</p> <p>②生涯学習人材バンク制度において、様々な知識や技術・特技・経験を身に付けた地域人材の登録を充実し、生涯学習講師・指導者・スタッフとして、また生涯学習のまちづくりの推進者として活躍していただくなど、この制度を有効に活用し生涯学習の推進を図ります。</p> <p>①◆公民館合宿通学事業の実施 10回 500人 ◆公民館合宿通学事業の地区実行委員会の設置 10地区 ②◆地域人材バンク通算登録数 110人 10団体</p>	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>①学校・家庭・地域が連携し公民館合宿通学事業を9地区で実施しました。本事業には、1,476人の地域の皆様にボランティアとして協力いただき、地域の子どもは地域で育てるという地域内での意識の醸成や地域の教育力向上につながりました。</p> <p>②生涯学習人材バンク制度を活用し、生涯学習の講師・指導者・スタッフとして、また生涯学習のまちづくりの推進者として活躍していただくため、様々な知識や技術・特技・経験を身に付けた地域人材の登録の充実を図りました。</p> <p>①◆公民館合宿通学事業の実施 9回 494人[A] ◆公民館合宿通学事業の地区実行委員会の設置 9地区[B] ②◆地域人材バンク通算登録数 109人 6団体[B]</p>
6	<p>■ 家庭の教育力の向上 地域の親子や子どもを対象とした鯖江市こどもまつりの開催を支援するなど、地域の親子や子ども同士が触れ合い絆を深める機会を提供し、家庭教育力の向上を図ります。</p> <p>◆鯖江市こどもまつりの参加者数 300人</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>地域の親子や子どもを対象とした鯖江市こどもまつりを開催し、地域の親子や子ども同士が触れ合い絆を深める機会を提供することができました。</p> <p>◆鯖江市こどもまつりの参加者数 400人[A]</p>

<取組項目>		<取組結果>	
7	<p>■ 文化財の調査、保存、啓発の推進</p> <p>①古墳群をはじめとする貴重な文化遺産を幅広く調査し保存の処置を講ずるとともに、優れた伝統芸能や技術を継承する市民・団体の文化財指定も進め、文化財を後世に引き継いでいくための事業を推進します。</p> <p>②市内の神社に奉納されている絵馬や指定文化財について、市民がさらに理解を深め、その保存と活用について身近に考えることができるような事業を開催します。</p>	7	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>①貴重な文化遺産を幅広く調査し、保存・継承の措置を講じるために、指定・登録候補物件23件について現地調査を実施しました。また、今北山・磯部・弁財天古墳群発掘調査においては、昨年調査した環壕の内部に住居跡が確認されました。</p> <p>②地域の歴史・文化および文化財について理解を深め、保存・活用について考える機会を創出するために、音楽イベント1回・博物館企画展示2回・講演会2回・学習会12回・見学会2回を実施しました。</p>
	<p>①◆国・県・市指定および登録文化財数の増加 8箇所</p> <p>②◆各イベントでの目標参加者数 合計 1,700人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちかど歴史浪漫コンサート 300人 ・絵馬についての企画展示 600人 ・間部詮勝プロジェクト講演会(3回) 200人 ・間部詮勝プロジェクト学習会(10回) 300人 ・古墳見学会、説明会(3回) 300人 		<p>①◆国・県・市指定および登録文化財数の増加 18箇所[A]</p> <p>②◆各イベントでの目標参加者数 合計 1,730人[A]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちかど歴史浪漫コンサート 300人 ・絵馬についての企画展示 500人 ・民具についての企画展示 100人 ・間部詮勝プロジェクト講演会(2回) 200人 ・間部詮勝プロジェクト学習会(12回) 480人 ・古墳見学会、説明会(2回) 150人
8	<p>■ 文化活動への参加と文化に触れる機会の提供</p> <p>登録博物館であるまなべの館を広く活用して、市民が、直接文化芸術に触れて、鑑賞・参加・創造することができる機会を提供するとともに、子どもたちが伝統文化に触れる機会の充実を図り、市民の文化意識の高揚と郷土に対する愛着心の醸成に努めます。</p>	8	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>まなべの館で「助田茂蔵回顧展」、「発見！昔のくらし」、「ひびのこづえコスチュームアート展」、「よみがえる絵馬展」の4つの企画展を開催して、多くの市民に文化芸術の鑑賞の機会を提供しました。また、「まなべDEわくわく!!アートフェスタ2012」や「子ども文楽交流会」で子どもたちが伝統文化に触れる機会の充実を図りました。公募展「第5回鯖江市美術展」では、昨年を上回る出品点数が得られ、市民の文化意識の向上に努めました。</p>
	<p>◆まなべの館企画展開催事業 来場者数 5,000人</p> <p>◆子どもたちを対象にした芸術文化体験事業 参加者数 200人</p> <p>◆「子ども文楽」を通した小学校間交流促進 交流事業 1回</p> <p>◆市美術展の開催(9日間開催予定) 出品数 450点 来場者数 16,500人</p> <p>アートスタッフボランティア 180人</p> <p>◆ふるさとさばえ検定の実施 受験者数 100人</p>		<p>◆まなべの館企画展開催事業 来場者数 12,282人[A]</p> <p>◆子どもたちを対象にした芸術文化体験事業 参加者数 350人[A]</p> <p>◆「子ども文楽」を通した小学校間交流促進 交流事業 1回[A]</p> <p>◆市美術展の開催(5日間開催) 出品数 450点[A] 来場者数 13,500人[B]</p> <p>アートスタッフボランティア 180人[A]</p> <p>◆ふるさとさばえ検定の実施 受験者数 62人[C]</p>
9	<p>■ 青少年がスポーツに親しむ環境づくりの推進</p> <p>青少年の心身の健全な発育・発達を願い、生涯を通してスポーツに親しむことができるよう、地域住民が自ら運営する総合型地域スポーツクラブの活動を支援するとともに、スポーツクラブ相互の連携・協力を強化するための体制の構築に努めます。また、スポーツ少年団育成については、学校と各種スポーツ団体と連携して一層の加入促進を目指します。</p>	9	<p>【成果等】 目標を概ね達成しました。</p> <p>鯖江市教育委員会、市内総合型スポーツクラブ、(一社)鯖江市体育協会で構成する総合型スポーツクラブ連絡協議会を定期的に開催し、互いの協働体制の強化を図るとともに、鯖江市スポーツ振興計画の推進のため、各スポーツ団体の連携強化と総合型地域スポーツクラブの活動支援を行いました。</p> <p>総合型スポーツクラブの会員数は毎年少しずつ増加傾向にあり目標を上回ったものの、スポーツ少年団の加入率については、目標達成はできませんでしたが、学校を通じて加入啓発へのチラシ配布を実施しました。</p>
	<p>◆スポーツクラブ会員数 2,100人</p> <p>◆スポーツ少年団への加入率 23.5%</p>		<p>◆スポーツクラブ会員数 2,121人[A]</p> <p>◆スポーツ少年団への加入率 20.7%[B]</p>

< 取組項目 >		< 取組結果 >
10	<p>■ 市民各層におけるスポーツ習慣の定着と市全体の生涯健康および生涯スポーツ社会の推進 鯖江の恵まれたスポーツ環境を活用し、市民の誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて気軽にスポーツに親しめるようスポーツ教室やスポーツイベントの開催を通じて、元気で活力あふれるまちづくりを目指します。また、高齢者・障害者向けのスポーツ教室を開催し、スポーツ推進委員やスポーツ指導者と連携しながら、だれもがスポーツを続けられる社会を推進します。</p> <p>〔◆小学校・老人団体等へスポーツ出前講座 15回 600人 ◆ニュースポーツ教室・元気チャレンジ事業 22回 500人〕</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>幼児体操ふれあい事業、ニュースポーツ教室、出前講座、提案型のスポーツ教室を通して、幅広い年齢層での生涯スポーツの振興を図るとともに、インターハイの体操・新体操競技の開催、さらに、元気チャレンジ事業として明治大学卓球部とのスポーツ強化事業に取り組みました。また障がい者用スポーツ器具「サウンドテニス」を購入し、障がい者のスポーツ環境の充実を図りました。</p> <p>小学校・老人団体等へのスポーツ出前講座、およびニュースポーツ教室・元気チャレンジ事業とも、目標数値を達成しました。</p> <p>〔◆小学校・老人団体等へスポーツ出前講座 15回 738人[A] ◆ニュースポーツ教室・元気チャレンジ事業 22回 606人[A〕</p>
11	<p>■ 文化の館における市民との協働事業の開催および学校図書館支援センター事業の推進 ①最先端の研究や深い思索を行っている講師を招き、「ライブラリーカフェ」や、地元の演奏家などを招いて「カフェコンサート」を開催します。また、これらを「市民と友の会と大学と図書館との協働」という全国的にも例を見ない手法で実施し、市民の文化の拠点とします。 ②「学校図書館支援センター」として、対象年齢別に読書支援イベントを実施し、こどもの読書活動を支援します。</p> <p>〔①◆「ライブラリーカフェ」 12回 400人 ◆「カフェコンサート」 3回 200人 ②◆こどもの読書支援イベントの実施 ・「ブックトーク」 学校の要請 対応率 80% ・「こどものつどい」 42回（毎週土曜日） 500人 ・「本との素敵な出会い」 年長児総数 661人への実施率80% ・「絵本とよちよち1・2・3」 12回 150人 ・「あかちゃんと絵本のひろば」 12回 120組 ・「図書館司書の日」の実施 学校の要請 対応率 80%〕</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>①最先端の研究や深い思索を行っている講師による「ライブラリーカフェ」と地元の演奏家による「カフェコンサート」を開催しました。また、これらを市民と友の会と大学と図書館との協働という全国的にも例を見ない手法で実施しました。 ②対象年齢別に、「ブックトーク（小学生）」、「こどものつどい（3歳児から10歳児）」、「本との素敵な出会い（保育所・幼稚園児の年長）」、「あかちゃんと絵本のひろば（0歳児と保護者）」、「図書館司書の日（小中学生）」などの事業により、こどもの読書活動を支援しました。</p> <p>〔①◆「ライブラリーカフェ」 12回 559人[A] ◆「カフェコンサート」 3回 302人[A] ②◆こどもの読書支援イベントの実施 ・「ブックトーク」 学校の要請（13校）対応率 100%[A] ・「こどものつどい」 49回（毎週土曜日） 621人[A] ・「本との素敵な出会い」 年長児総数 661人への実施率 100%[A] ・「絵本とよちよち1・2・3」 12回 194人[A] ・「あかちゃんと絵本のひろば」 12回 175組[A] ・「図書館司書の日」の実施 学校の要請（192回）対応率 100%[A〕</p>
12	<p>■ 高年大学の活性化 ①健康長寿および社会貢献（社会参加）を目的として、引き続きカリキュラムに反映させます。 ②大学の活動を地域の諸活動とつなぎネットワークとして組み込むため、高年大学まちなか授業や課外授業などの「市民公開講座」を開催します。 ③受講生による学内ボランティア活動をより活発に推進します。また、受講生の社会貢献（社会参加）活動を支援するため、市の生涯学習・スポーツ人材バンクへの登録を促進し、具体的な活動につながるように調整します。 ④高年大学のIT環境を整え、IT事業を推進します。</p> <p>〔①◆健康・体育関連授業 45回 2,000人 ◆社会貢献関連授業 18回 700人 ②◆公開講座開催 10回 500人 ③◆人材バンク登録者数 20人 ④◆IT推進研修会の開催 7回 130人 ◆無線LAN接続申請者 50人〕</p>	<p>【成果等】 目標を達成しました。</p> <p>①健康長寿および社会貢献（社会参加）を目的として、カリキュラムに反映させました。 ②大学の活動を地域の諸活動とつなぎネットワークとして組み込むため、高年大学まちなか授業や課外授業などの「市民公開講座」を開催し、多くの受講生や一般市民の参加が得られました。 ③受講生による学内ボランティア活動をより活発に推進しました。また、受講生の社会貢献（社会参加）活動を支援するため、市の生涯学習・スポーツ人材バンクへの登録を促進し、具体的な活動につながるように調整しました。 ④高年大学のIT環境を整え、IT推進研修会等を開催しました。</p> <p>〔①◆健康・体育関連授業 47回 2,196人[A] ◆社会貢献関連授業 18回 710人[A] ②◆公開講座開催 16回 540人[A] ③◆人材バンク登録者数 20人[A] ④◆IT推進研修会の開催 14回 232人[A] ◆無線LAN接続申請者 107人[A〕</p>